

JF-IETF-RFC4348

VMR-WB の RTP ペイロード形式

Real-Time Transport Protocol (RTP)
Payload Format for
the Variable-Rate Multimode
Wideband (VMR-WB) Audio Codec

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC4348に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC2198, RFC2326, RFC2327, RFC2733, RFC2974, RFC3264

RFC3267, RFC3550, RFC3558, RFC3551, RFC3711

3GPP仕様: TS 26.193 version 5.0.0 (2001-03), C.S0052-0 v1.0(2004), C.S0050-A v1.0(2005)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、可変速マルチモード広帯域音声符号化方式(VMR-WB)に利用するリアルタイムトランスポートプロトコル(RTP)のペイロード形式を規定する。本ペイロード形式は非IPネットワーク上で既存のVMR-WB転送との相互運用を可能にすることを目的とするものである。VMR-WBのRTPペイロード形式の為のメディア型式の登録が盛り込まれる。VMR-WBは、複数の動作モード(その1つが一定レートのAMR-WB音声符号化方式と相互運用可能)を有する可変速マルチモード広帯域音声符号化方式である。従って、トランスコーディングの関係機能無しに相互運用モードでVMR-WBとAMR-WB間のデータパケットの交換を単純化し、容易にする規定が本標準で成される。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記のIETF RFCによる。

IETF RFC4348 : 「Real-Time Transport Protocol (RTP) Payload Format for the Variable-Rate Multimode Wideband (VMR-WB) Audio Codec」